

化学物質を使用する際は適切な保護具を正しく着用すること。
(法令上の義務 労働安全衛生規則第597条)

保護ゴーグル（または保護メガネ）

- ・薬品が目に入る事故は多く発生
→保護ゴーグルの着用を推奨

保護衣（白衣または作業服）

- ・用途に応じた材質/形状を選ぶ

保護手袋

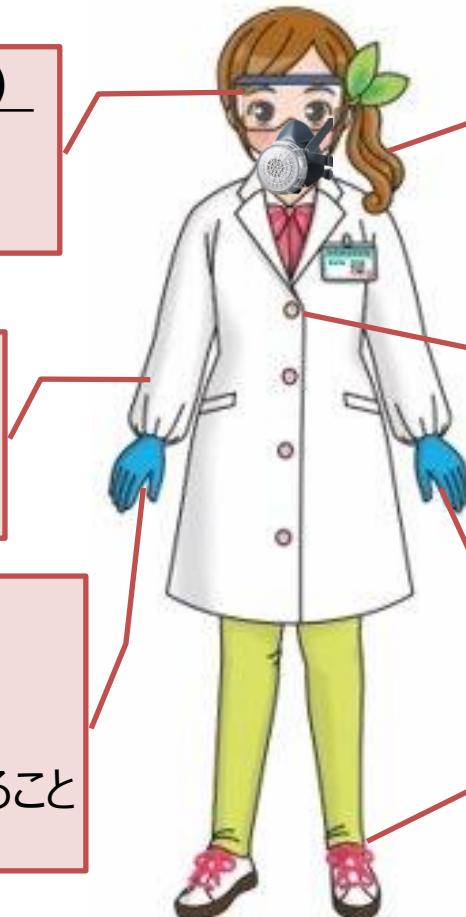
- ・用途に応じた材質/形状を選ぶ
- ・耐薬性を確認すること
- ・汚染した場合は速やかに交換すること

髪は巻き込まれないよう
束ねる

ボタンは閉める

腕まくり禁止

肌が露出しない服・靴





材質によって耐薬性は異なるため、適切な手袋の選択が必要

耐薬性の具体例 化学物質名/手袋の材質	ニトリル		ブチルゴム		※1バイトン	
	※2耐劣化	※3透過時間	耐劣化	透過時間	耐劣化	透過時間
ヘキサン	◎	-	×	-	◎	>8h
アセトン	×	5min	◎	>8h	×	2min
ジクロロメタン	×	4min	×	8min	△	1h
エタノール	-	-	◎	>8h	-	-
塩酸(37%)	◎	>6h	◎	-	◎	-
硝酸(70%)	×	12min	◎	>8h	◎	>8h
水酸化ナトリウム 水溶液(50%)	◎	>8h	◎	>8h	◎	>8h

※1 デュポン社製フッ素ゴム、※2 浸漬試験により評価、※3 0.1mg/m²・secの透過速度が得られた時間

VWR 社カタログより抜粋 (<https://research.columbia.edu/sites/default/files/content/EHS/Lab%20Safety/VWRGloves.pdf>)

□手袋の透過時間の情報を収集（手袋メーカーカタログ、海外試薬メーカSDS等）して選定

参考：厚生労働省発行“皮膚障害等防止用保護具の選定マニュアル第二版 参考資料 2 耐透過性能一覧表”

□使用前には、**破れ、傷、穴等がないか確認**

□一度使用した手袋は薬品で汚染されている可能性があるため**再利用しない**